

日 絹 月 報

平成 23 年 10 月号 第 415 号

発行：社団法人日本絹人織織物工業会

日本絹人織織物工業組合連合会

Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

— 本号の主なニュース —

1. 平成24年度繊維関連予算概算要求について
2. セーフティネット保証5号の対象業種(継続)について
3. 円高への総合的対応策の先行実施について
4. 第53回繊維通商問題研究会の開催について
5. 当会化合繊維物部会、絹織物部会の開催
6. JFWジャパン・クリエーション2012閉幕

◇平成24年度繊維関連予算概算要求について◇

平成24年度の繊維関連予算の概算要求は、繊維産業も活用できるいわゆる主要な業種横断的施策を含め以下のとおり。

1. 内需依存体質からの脱却・外需の取り込み

海外展開を行う中小企業の経営基盤強化事業

35億円【新規】

【要望枠】

予算要求課：中小企業庁新事業促進課

2011年6月に「中小企業海外展開支援会議」でとりまとめた「中小企業海外展開支援大綱」を踏まえ、出資機関を通じて海外展開を行う中小企業等の資本増強のための投資を行う。

グローバル技術連携支援事業

30億円【新規】

【要望枠】

予算要求課：中小企業庁創業・技術課

海外への販路開拓を図るため、ニッチ分野等の世界市場獲得を目指す中小企業の連携体に取り組む技術流出対策（試作品開発等）、現地での基準認証や規制への対応のための調査等を支援する。

中小企業海外展開等支援事業

23億円

平成23年度予算額：25億円

予算要求課：通商政策局通商政策課

中小企業庁新事業促進課

中小企業の海外展開を支援するため、日本貿易振興機構及び中小企業基盤整備機構が連携し、中小企業の外国対応の準備支援、国内外展示会への出展支援、海外バイヤーの招聘等を実施する。

新事業活動促進支援補助金

22億円

平成23年度予算額：31億円

予算要求課：中小企業庁新事業促進課

地域の基幹産業である商工業と農林漁業の連携を支援する農商工連携促進法や、異分野の中小企業の連携を支援する新事業活動促進法に基づき、中小企業者が新商品・新サービスを開発・販売する取組を支援する。

JAPANブランド育成支援事業（補助金）

4億円

平成23年度予算額：6億円

予算要求課：中小企業庁新事業促進課

中小企業の新たな海外販路の開拓につなげるため、地域における複数の中小企業が協働し、自らの持つ素材や技術等の強みを踏まえた戦略の策定支援を行うとともに、それに基づいて行う商品の開発や海外市場開拓の取組に対する支援を実施する。

クリエイティブ産業海外展開推進事業

9.2億円

平成23年度予算額：11.5億円

予算要求課：商務情報政策局クリエイティブ産業課

「クールジャパン」と呼ばれ人気が高いコンテンツやファッションなどについて、相手国市場にあわせて業種を超えたパッケージ化による日本のブランド価値向上を行う民間企業の取組を支援し、クールジャパンを競争力の源泉とする新たな産業群を創出する。

2. 個別から連携・統合へ

経営資源融合を行う中小企業の資本力強化事業

20億円【新規】【要望枠】

予算要求課：中小企業庁企画課

出資機関による出資を通じて、経営資源融合（合併）を行う中小企業の資本力強化や事業引継支援を行う。

戦略的基盤技術高度化支援事業

133億円の内数

平成23年度予算額：150億円の内数

予算要求課：中小企業庁創業・技術課

我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、「特定ものづくり基盤技術」の高度化に資する中小企業の研究開発から試作まで含む取組を支援する。

新事業活動促進支援補助金【再掲】

22億円

平成23年度予算額：31億円の内数

予算要求課：中小企業庁新事業促進課

地域の基幹産業である商工業と農林漁業の連携を支援する農商工連携促進法や、異分野の中小企業の連携を支援する新事業活動促進法に基づき、中小企業者が新商品・新サービスを開発・販売する取組を支援する。

クリエイティブ産業海外展開推進事業【再掲】

9.2億円

平成23年度予算額：11.5億円

予算要求課：商務情報政策局クリエイティブ産業課

「クールジャパン」と呼ばれ人気が高いコンテンツやファッションなどについて、相手国市場にあわせて業種を超えたパッケージ化による日本のブランド価値向上を行う民間企業の取組を支援し、クールジャパンを競争力の源泉とする新たな産業群を創出する。

3. トップレベルの技術を幅広い分野に

革新炭素繊維基盤技術開発

18.4億円【要望枠】

(通常枠：3.4億円 要望枠：15億円)

平成23年度予算額：2.5億円

予算要求課：産業技術環境局研究開発課

製造産業局繊維課

炭素繊維の製造エネルギーとCO₂排出量の半減及び生産性の大幅向上(大量供給)を両立させる革新炭素繊維製造プロセスに係る基盤技術開発を行う。具体的には、①新規前駆体の設計・合成、②炭化構造形成メカニズムの解明、③炭素繊維の物性評価・評価手法開発などの技術開発を行う。

また、要望枠を活用して、本事業の加速化及び、量産型製品に適用可能な炭素繊維複合材料への用途拡大に資する①革新炭素繊維及びその複合材料の分析・性能評価の精度向上と評価手法の開発、②炭素繊維複合材料の構造設計とデザイン手法の開発、③実部材の要求性能・形状に合う最適加工技術の開発を実施する。

革新炭素繊維製造プロセス技術開発

1.9億円【新規】

予算要求課：産業技術環境局研究開発課

製造産業局繊維課

炭素繊維製造時の消費エネルギー・CO₂排出量の半減及び生産性の大幅向上を実現するため、「革新炭素繊維基盤技術開発」で得られた基盤技術を活用し、実用化に向けて以下の生産基本技術に関する研究開発を行う。

- ① 産化に向けた新規炭素繊維前駆体の合成・製糸技術の確立
- ② マイクロ波による炭化技術、プラズマを利用した表面処理技術・排ガス無害化処理技術の確立

サステナブルハイパーコンポジット技術の開発

NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）運営費交付金 5.0億円

平成23年度予算額：4.9億円

予算要求課：産業技術環境局研究開発課

製造産業局繊維課

加工の迅速性やリサイクル性を向上させることのできる熱可塑性樹脂を用いた新たな炭素繊維複合材料（サステナブルハイパーコンポジット）の開発を行う。具体的には、①易加工性中間基材の開発、②高速成形技術の開発、③接合技術の開発、④リサイクル技術の開発の研究開発項目を実施する。

グリーンセンサ統合制御システム制御開発プロジェクト

NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）運営費交付金 7.5億円

平成23年度予算額：7.5億円

予算要求課：産業技術環境局研究開発課

製造産業局産業機械課

製造産業局繊維課

オフィスビルや工場等でのエネルギー消費量や二酸化炭素排出量の把握（見える化）及びマネジメント（最適化）を行い、低炭素社会の実現に寄与するため、自立電源・無線通信・メンテナンスフリーの革新的MEMS センサを開発するとともに、これを建物内に設置し、柔軟かつ統合的にエネルギー制御を行うシステムの開発を行う。

特に、繊維関係では、ナノファイバー構造型光電／熱電変換材料技術による自立電源開発する。

4. コスト競争からの脱却・感性をビジネスへ

クリエイティブ産業海外展開推進事業【再掲】

9.2億円

平成23年度予算額：11.5億円

予算要求課：商務情報政策局クリエイティブ産業課

「クールジャパン」と呼ばれ人気が高いコンテンツやファッションなどについて、相手国市場にあわせて業種を超えたパッケージ化による日本のブランド価値向上を行う間企業の取組を支援し、クールジャパンを競争力の源泉とする新たな産業群を創出する。

◇セーフティネット保証5号の対象業種を原則全業種に指定◇

政府は東日本大震災及び円高の影響を踏まえ、平成23年度下半期のセーフティネット保証5号（※1）の対象業種を、原則全業種（82業種）とする措置等を講じることになった。

併せて、「東日本大震災復興緊急保証（※2）」及び「東日本大震災復興特別貸付（※3）」につきましても、下半期継続して実施する。

※1：セーフティネット保証5号とは、業況の悪化している業種として指定された業種に属する事業を行う中小企業者であって、経営の安定に支障が生じていることについて、市区町村長の認定を受けた中小企業者を対象に、信用保証協会が借入額の100%を保証（一般保証とは別枠）する制度。

※2：東日本大震災復興緊急保証とは、東日本大震災によって直接又は間接被害（風評被害を含む）を受けた中小企業者を対象として、信用保証協会が借入額の100%を保証（一般保証とは別枠）する制度。

※3：東日本大震災復興特別貸付とは、東日本大震災によって直接又は間接被害（風評被害を含む）を受けた中小企業者を対象として、既存の貸付制度に比べて、金利や貸付期間、据置期間等を優遇した貸付制度。

また、円高の影響によって、急激に売上高等が減少している中小企業者を対象に、セーフティネット保証5号の利用要件を緩和（※4）することとした。

なお、東日本大震災復興緊急保証についても、平成23年度下半期は引き続き実施する。

※4：円高の影響によって、原則として最近1か月の売上高等が前年同月比で10%以上減少し、かつ、その後2か月を含む3か月間の月平均売上高等が前年同期比で10%以上減少することが見込まれる中小企業者を対象とする要件を追加。

2. 東日本大震災復興特別貸付について

東日本大震災復興特別貸付は、東日本大震災によって直接又は間接被害（風評被害を含む）を受けた中小企業者を対象として、日本政策金融公庫及び商工組合中央金庫が平成23年5月23日から貸付けを実施してまいりましたが、被害の甚大さを踏まえ、本年度下期も引き続き継続することとした。（本会からは10/3付け31号にて通知済み。）

◇円高への総合的対応策の先行実施について◇

平成23 年9 月27 日付けで政府(内閣府)は円高への総合的対応策について先行実施する旨を次のとおり発表した。

円高の進行と欧米経済の停滞懸念による景気下振れリスクが急速に高まりつつある。9 月20 日には、円高への取組みについて、中間報告を公表し、その基本的考え方と主要施策リストを示したところである。このうち、下記の施策については、景気下振れリスクに先手を打って迅速に対応するため、平成23 年度第3 次補正予算の成立を待たず、他に先駆けて直ちに着手・実施することとする。これ以外の施策についても、円高への総合的対応策の最終取りまとめ及び第3 次補正予算の編成を早急に行い、実施に移していく。

記

①□円高に対応した雇用調整助成金の要件緩和

急速な円高を受け事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が雇用調整助成金を速やかに活用できるよう要件緩和を行う(10 月上旬から実施)

従来要件：最近3か月の生産量・売上高がその直前の3か月または前年同期と比べ5%以上減少した事業所
新要件：最近1か月の生産量・売上高がその直前の1か月または前年同月と比べ5%以上減少した、もしくは、減少する見込みである事業所

②□中小企業へのセーフティネット保証の延長

特に業況の悪い業種に属し、売上高が一定程度以上減少している中小企業に対するセーフティネット保証は、現在、原則全業種が対象となっているが、同措置は本年9 月末期限切れとなるため、これを平成24 年3 月末まで延長する(9 月30 日決定)。

③ 成長分野企業における職業訓練支援の拡充

成長分野等人材育成支援事業について、成長分野の事業主が、成長分野以外の産業から労働者を移籍により受け入れ、必要な職業訓練を行う場合、これまでのOff-JT(Off-the-Job Training)に加え、新たにOJT(On-the-Job Training)についても助成対象とする(10 月中に実施)。

◇当会化合繊織物部会、絹織物部会、 先染・後染化合繊織物専門委員会合同会議の開催 ◇

平成23 年10 月13 日、JFW・ジャパン・クリエーション2012 展示場内会議室において、本会の化合繊織物部会、絹織物部会、先染・後染化合繊織物専門委員会合同会議が開催された。まず各部会委員長の任期満了に伴う互選が行われ、満場一致で絹織物部会委員長に西陣組合の渡邊理事長(重任)、化合繊織物部会委員長に石川(工)組合の山本副理事長(重任)が選出された。次いでテキスタイルコーディネーター車純子氏による「日本のテキスタイル産地の今後」をテーマに、現在産地が抱える様々な苦悩を見据えながらも、JCを始めとする展示会における商品アピールの方法に触れ、新しい産地の生き方についての講演が行われた。

なお、プルミエールビジョン海外展示会での車氏の情報によると、今年の来場者は46,222 人(昨対比10%増)、出展企業数714 社(昨対比4.5%増)で新規23 社、復活8 社。国別出展企業数は伊329、仏95、トルコ54、英36、日本33、スペイン28、ポルトガル25、独23、韓

23、台湾 12、中国 5、インド 3 ほか。

◇第 53 回繊維通商問題研究会の開催について◇

平成 23 年 9 月 28 日(水)繊維会館において、第 53 回繊維通商問題研究会が開催された。主要議題は次の通り。

1. 日本の繊維貿易の現状について
2. E P A 交渉の状況について
3. E P A 産業協力の状況について
4. E U R A T E X との面談（欧州出張）について
5. 日欧 E I A（経団連からの提案）について
6. 日印 E P A における原産地規則について
7. その他

主な内容

1. 日本の繊維貿易の現況について

- ① 7 月、4-7 月の実績でも震災の影響は見られていない。
- ② 天然繊維の原料高により、輸入額（特に綿糸等）は依然増加傾向。
- ③ 輸出ではベトナム向け・バングラデシュ向けが依然として増加。輸入では綿価の高騰を受けてパキスタンからが依然増加、中国の構成比は更に低下。

2. EPA交渉の状況について

- ①. コロンビア：9/12 の首脳会談で EPA 官民共同研究の設置を合意。
コロンビアとの貿易品目は、輸入ではニット衣類（ジャージ等）が半数、輸出では合繊短繊維が多い。両国の関心事について、日本側はレアアースであり、コロンビア側は他の中南米諸国との競争環境改善ではないか。
- ② TPP(環太平洋経済連携協定)について
 - ・ 9/6-15 に第 8 回交渉。日本は交渉国への場外ヒアリングで情報を入手。繊維分野はセンシティブ品目として扱われており、厳格なヤーンフォワードを主張する米国とそれに反対するベトナムの主張の対立が顕在化しつつある模様。
 - ・ 全米商工会議所によれば、素材産業とアパレル産業で意見に対立あり。同会議所はアパレル産業と同意見。
 - ・ ベトナム政府関係者によれば、ベトナムの繊維産業は 8 割が輸入素材を使用しており、厳格なヤーンフォワードでは同国の TPP のメリットは限定的となる模様。軟着陸すべく方策を検討しているとのこと。
 - ・ 下村会長から意見：1 工程基準よりもヤーンフォワードの方がマシとの意見には賛成。米国とベトナムの間を取って 2 工程基準で妥結するような期待はできず、原産地規則が厳しくなっても高関税が撤廃されることが魅力。例えば綿織物では紡績以降を自国・締約国で行えばヤーンフォワードを満たせる筈。レギュラー品が日本からアメリカに多量に出ていくわけではない。日本

で紡績した特殊なもの、燃糸物などは、ヤーンフォワードの方がよいのではないと思う。量産品は、海外の方が競争力がある。現在 日本から米国向けに輸出されているものは特殊品。

※ヤーンフォワードは米国の FTA で採用されている繊維製品の原産地規則である。米国が懸念しているのは、中国製の糸を使用したベトナムからの繊維製品の輸入急増である。ヤーンフォワードが採用されると、ベトナムは TPP により無税で米国に輸出するには自国産か米国産の糸を使わねばならなくなる。

3. 日欧EIAについて

- ①経団連から繊維産連に対して日欧 EIA に関する業界意見の照会があった。
- ②欧州産業界の抵抗により日欧 IEA の交渉開始まで至っていない現状。本年 5/28 の日欧定期首脳協議の中で、交渉の範囲・目標をすり合わせる議論（スコーピング）を早期に実施することで合意。7 月の経団連訪欧ミッションでも、速やかなスコーピング作業の実施に向けた業界同士の対話を表明。
- ③日欧業界対話のため、各産業界の今までの対話の現状や業界内の関心事項等について報告依頼があり、経団連は各産業界の回答を集約の上、近日中に共同声明を発表する見込み。

※EIAとは、特許制度、政府調達の基準、環境規制など内政面の制度にまで踏み込んで 2 国間の共通化を図り、事実上の市場統合を実現する構想 (EPA発展型)

◇ JFWジャパン・クリエーション2012 閉幕 ◇

国内唯一の繊維総合見本市である「JFW ジャパン・クリエーション(JFW-JC)2012 が、10月12日から14日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された。また、テキスタイル展示・商談会「プレミアム・テキスタイル・ジャパン(PTJ)12年秋冬」も同時開催された。

99年から連続開催され、繊維業界全般の商品を紹介するプロモーションの場としてのJCと今回で2回目となるテキスタイルのビジネス商談会のPTJの同時開催により相乗効果を狙う。近年、アパレル業界の繊維・テキスタイル調達がグローバル化し、国内の繊維・テキスタイル産地は生産規模を縮小しており、またテキスタイル生産の分業化を支えてきた問屋や商社機能も衰えてきている中、今回はJC193件/229小間、PTJ60件/76小間で総勢311社の出展者となったが、JCにおいてテキスタイル関連の減少が目につく。

なお、今回は東日本大震災後の衣料消費の伸び悩みや超円高が輸出企業にも打撃を与えるなど環境は一段と厳しさを増している状況下、何とか突破口を開きたいとの思いから組合やグループの出展が増えた。

出展者からはバイヤーも新しいテキスタイル素材を求める機運が高まっているが、発注規模が以前より小さくなったとの声も聞かれる。

一方で、これまでの既存ルート以外の新規顧客の獲得や、新たな開発商品にふさわしい新規分野に提案できる場として期待する声も多かった。

海外企業の出展については韓国パビリオンが開設され、韓国繊維産業連盟(KOFOTI)傘下企業など18社が参加した。

当会は伝統を継承する絹織物から、最新技術を駆使した合繊織物まで、多種多様な素材を披露するために、会場内に日絹ブース「シルク＆シンセティック」エリアを確保し、絹・化合繊の9産地（福島、桐生、八王子、長野、亀田、富山南部、福井、小松、西陣）が参加した。

なお、JCの次の会場は東京国際フォーラム（東京有楽町）に移し、来場者の増員を図ることになった。

次の開催予定

JFW JAPAN CREATION 2013

会期 2012年11月20日（火）、21日（水）

時間 10:00～18:00

会場 東京国際フォーラム ホール1 (3,000 m²)

◇テックスワールド・パリ 出展報告◇

国際見本市テックスワールドが9月19日から22日の4日間、パリ郊外のル・ブルジェにおいて開催された。

出展企業は790社（27カ国）、来場者数は約15,000人（前年比4.5%増）であった。出展企業の主な国別内訳は中国377社、トルコ89社、韓国88社、インド74社、台湾62社、パキスタン34社、香港30社、タイ20社で日本からは当会を含む6社1団体であった。

当会からは福島、桐生、石川、福井、丹後の5産地組合6企業が8名のアテンド体制で臨み、新規販路開拓を求めて絹200点、化合繊400点を出品した。

当会ブースではアパレル、問屋、小売店、エージェントとの商談が活発に行われ、ブースへの来客数は60社（アンケート回答ベース）を数えた。

◇平成23年度地域別最低賃金改定状況◇

都道府県名	最低賃金時間額【円】		発効年月日
北海道	705	(691)	平成23年10月6日
青森	647	(645)	平成23年10月16日
岩手	645	(644)	平成23年11月11日
宮城	675	(674)	平成23年10月29日
秋田	647	(645)	平成23年10月30日
山形	647	(645)	平成23年10月29日
福島	658	(657)	平成23年11月2日

茨城	692	(690)	平成 23 年 10 月 8 日
栃木	700	(697)	平成 23 年 10 月 1 日
群馬	690	(688)	平成 23 年 10 月 7 日
埼玉	759	(750)	平成 23 年 10 月 1 日
千葉	748	(744)	平成 23 年 10 月 1 日
東京	837	(821)	平成 23 年 10 月 1 日
神奈川	836	(818)	平成 23 年 10 月 1 日
新潟	683	(681)	平成 23 年 10 月 7 日
富山	692	(691)	平成 23 年 10 月 1 日
石川	687	(686)	平成 23 年 10 月 20 日
福井	684	(683)	平成 23 年 10 月 1 日
山梨	690	(689)	平成 23 年 10 月 20 日
長野	694	(693)	平成 23 年 10 月 1 日
岐阜	707	(706)	平成 23 年 10 月 1 日
静岡	728	(725)	平成 23 年 10 月 14 日
愛知	750	(745)	平成 23 年 10 月 7 日
三重	717	(714)	平成 23 年 10 月 1 日
滋賀	709	(706)	平成 23 年 10 月 20 日
京都	751	(749)	平成 23 年 10 月 16 日
大阪	786	(779)	平成 23 年 9 月 30 日
兵庫	739	(734)	平成 23 年 10 月 1 日

奈良	693	(691)	平成 23 年 10 月 7 日
和歌山	685	(684)	平成 23 年 10 月 13 日
鳥取	646	(642)	平成 23 年 10 月 29 日
島根	646	(642)	平成 23 年 11 月 6 日
岡山	685	(683)	平成 23 年 10 月 27 日
広島	710	(704)	平成 23 年 10 月 1 日
山口	684	(681)	平成 23 年 10 月 6 日
徳島	647	(645)	平成 23 年 10 月 15 日
香川	667	(664)	平成 23 年 10 月 5 日
愛媛	647	(644)	平成 23 年 10 月 20 日
高知	645	(642)	平成 23 年 10 月 26 日
福岡	695	(692)	平成 23 年 10 月 15 日
佐賀	646	(642)	平成 23 年 10 月 6 日
長崎	646	(642)	平成 23 年 10 月 12 日
熊本	647	(643)	平成 23 年 10 月 20 日
大分	647	(643)	平成 23 年 10 月 20 日
宮崎	646	(642)	平成 23 年 11 月 2 日
鹿児島	647	(642)	平成 23 年 10 月 29 日
沖縄	645	(642)	平成 23 年 11 月 6 日
全国加重平均額	737	(730)	

注) 括弧書きは、平成 22 年度地域別最低賃金額

◇ 「資金調達ナビ」最新の支援情報(全国版) ◇

中小機構では、J-Net21 スタッフが全国の省庁や都道府県庁、支援センターなどの公的機関のサイトに発表されている WEB 情報を収集し、リンク情報として紹介しています。資金制度、募集中の資金情報を資金調達の目的、方法、都道府県別に検索できますので実施されている事業にあわせて情報を入手することができます。

中小機構ホームページ<http://j-net21.smrj.go.jp/raise/index.html>
(日絹ホームページからもリンクしていますので御利用下さい)
(全国版)

平成 23 年度新事業活動促進支援補助金(地域資源活用売れる商品づくり支援事業)の 2 次公募について

地域の優れた資源を活用した新商品・新サービスの開発や販路開拓に取り組む中小企業者に対し、市場調査、研究開発に係る調査分析、新商品・新役務の開発(試作、研究開発、評価等を含む)、展示会等の開催又は展示会等への出展、知的財産に係る調査等の事業に係る経費の一部を補助します。募集期間：2011/10/14～2011/10/31

輸出事業者向けの輸出品の放射線検査料補助事業(貿易円滑化補助事業)(経済産業省)

経済産業大臣が指定する検査機関が行う輸出品の放射線量検査に要する経費を補助し、輸出者の検査料負担の軽減、物流の停滞防止及び輸出の円滑化を図ることを目的としています。検査料金は検査実施機関によって異なり、中小企業は検査料の 9/10、中小企業以外は検査料の 1/2 が国の補助により減額されます。募集期間：2011/6/22 ～

原子力災害に伴う「特定地域中小企業特別資金」の開始について(中小企業庁)

福島県と経済産業省は、中小企業基盤整備機構の高度化融資スキームを活用し、原子力発電所事故の被災区域から移転を余儀なくされる中小企業等が、福島県内の移転先において事業を継続・再開、雇用を維持するために必要な資金の融資申請を、6 月 1 日より受付開始します。募集期間：2011/6/1 ～ 2012/3/31

中小・小規模企業向け「東日本大震災復興特別貸付」の創設 (日本政策金融公庫)

東日本大震災の発生を受けて創設された貸付制度であり、既存の複数の融資制度を一本化し、融資限度額や金利引き下げ措置等を大幅に拡充したものです。とりわけ、直接・間接

的に被害を受けた方に対しては、「別枠」を用意しています。更に、風評被害等による影響から資金繰りが著しく悪化している方も貸付対象としています。募集期間：2011/5/23 ～

中小企業緊急雇用安定助成金 (厚生労働省(ハローワーク))

景気の変動、産業構造の変化その他の経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、その雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練又は出向をさせた場合に、休業、教育訓練または出向に係る手当若しくは賃金等の一部を助成します。

受付期間：平成20年12月から当面の間

経営環境変化資金（セーフティネット貸付） (日本政策金融公庫 国民生活事業)

社会的、経済的環境の変化などにより、一時的に業況の悪化を来している中小企業者に対し、経営基盤の強化を図るための資金を融資します。融資額は4,800万円以内です。

受付期間：～ 2012/3/31

金融環境変化資金（セーフティネット貸付） (日本政策金融公庫 国民生活事業)

金融機関との取引状況の変化により、一時的に資金繰りに影響を受けている中小企業者に対し、経営の安定を図るための資金を融資します。融資額は別枠4,000万円以内です。受付期間：～ 2012/3/31

取引企業倒産対応資金（セーフティネット貸付） (日本政策金融公庫 国民生活事業)

取引企業などの倒産により経営に困難を来している中小企業者に対し、企業の運営上一時的に必要な資金を融資します。融資額は別枠3,000万円以内です。

受付期間：～ 2012/3/31

動 向

- 9月28日 日本繊維産業連盟第53回繊維通商問題研究会
- 29日 中央蚕糸協会内外シルク講演会
- 30日 全国中小企業団体中央会組織専門委員会
- 10月 1日 丹後組合創立90周年記念式典
- 4日 日本繊維産業連盟幹事会
- 11日 全国中小企業団体トップセミナー
- 13日 当会 絹織物部会・化合繊維物部会合同会議
- 17日 メルセデスベンツ日本ファッションウィーク東京 2012S/S
レセプションパーティ
- 18日 平成23年度全日本帯地連盟委員総会
- 20日 日本絹業協会 純国産絹マーク審査委員会

会議予定

- ☆ 日本繊維倶楽部繊維午餐会・理事会
10月24日(月) 12時 於 KKR ホテル東京
- ☆ 全国中小企業団体中央会 創立55周年記念式典
10月27日(木) 13時 於 ANA インターコンチネンタルホテル東京
- ☆ 大日本蚕糸会蚕糸功労賞表彰式
11月 1日(火) 14時 於 東京会館
- ☆ 日本繊維産業連盟第54回繊維通商問題研究会
11月 9日(水) 14時 於 繊維会館
- ☆ 繊維構造改革推進協議会第12回経営トップ合同会議
11月11日(金) 14時 於 TOC 有明ビル
- ☆ 全国中小企業団体中央会全国大会
11月17日(木) 14時 於 名古屋国際会議場
- ☆ 第2回日中韓繊維産業協力会議
11月22日(火) 10時 於 ホテルシャングリラ成都(中国)

イベント

- ☆ 平山郁夫シルクロード美術館コレクション
10月 8日(土)～11月6日(日) 9時～18時30分
会場：シルク博物館
- ☆ k i b i s o 2011秋冬コレクション
10月19日(水)～25(火) 10時～20時
会場：松屋銀座 スペース・オブ・ギンザ
- ☆ 桐生テキスタイル コレクション
10月20日(水)～21(金) 10時～18時(21日は17時まで)
会場：青山テピア
- ☆ TOKYO KIMONO WEEK 2011(きもの・和・日本の美)
10月26日(水) 16時30分～
会場：日本橋三井ホール
- ☆ 第26回国民文化祭・京都2011(シルクファッションフェスティバル)
11月3日(木) 13時～17時
会場：京都府丹後文化会館
- ☆ 組合創立90周年記念第62回丹後織物求評会
11月16日(水)～11月18日(金)(16日は審査会)
会場：京都産業会館

☆ 尾州マテリアルエキシビジョン

11月 8日(火)～11月10日(木) 10時～18時

(初日13時から、最終日17時まで)

会場：恵比寿ガーデンホール

☆ ジャパンテックス

11月 9日(水)～11月11日(金) 10時～18時(最終日17時まで)

会場：東京ビッグサイト西1.2ホール

☆ 博多織求評会

11月10日(木)～11月13日(日) 10時30分～17時(10日は審査会)

会場：承天禅寺

☆ 卓越した技能者の表彰式

11月15日(火) 12時30分

会場：京王プラザホテル